

## ナベショー 3期ぶり1000億円台 前期売上高 販売量減も高水準

製鋼原料商社のナベショー(本社=大阪市、渡邊泰博社長)は2011年12月期決算をまとめ、売上高が前年比4%増の1016億円と、2008年(1275億円)以来、3期ぶりに1000億円の大台に乗せた。販売数量は273万トと7万ト減だったが、過去2番目の水準で月間22万トペースを維持した。

3年連続の増収で、鉄スクラップ販売量については04年以降、8年連続で220万トを突破。他社にはない全

国ネットワークの構築や異業種とのビジネス展開などが、鉄スクラップ事業などにつながったのは「渡邊社長」としている。同社では鉄スクラップ事業を中心に、アタッチメント式切断機の「もうカッター」や鉄ス

クラップ加工処理機械など関連事業も手掛けており、さらに鉄スクラップ事業の一環として、一昨年から中古建機の販売事業にも着手。今後も顧客サービスの充実と販路拡大を図る。同社は1909年(明治42年)創業の老舗商社。ここ数年で異業種ネットワーク構築にも注力し、マンションデベロPPERや解体業者、不動産業、家電メーカー、広告会社、税理士事務所、コンサルティング業、証券会社などと事業提携を結び、ベンチャー企業グループ『Next Ones Club(N.O.C)』を立ち上げた。営業拠点は大阪本社、東京、名古屋、姫路、岡山、総社、東京(西葛西・麻布・赤坂)、福岡のほか、各地区湾岸で集荷・出荷拠点を置くなど、全国展開している。